

令和元年9月27日

九州地方整備局

スマートインターチェンジの新規事業化、準備段階調査の箇所を決定
～九州管内で、新富スマートインターチェンジ(仮称)が、
準備段階調査の実施箇所に決定～

高速道路の有効利用や地域経済の活性化等の効果が期待されるスマートインターチェンジ※¹について、準備段階調査の実施箇所として、新富スマートインターチェンジ(仮称)※²が決定されました。

なお、本日付けで、全国で10箇所を新規事業化し、新たに9箇所で準備段階調査を実施することになりました。

※1 スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

※2 スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

○九州管内の準備段階調査箇所

- ・ 名 称：新富スマートインターチェンジ(仮称)
- ・ 検討位置：宮崎県児湯郡新富町
- ・ 路線名：E10 東九州自動車道(高鍋IC～西都IC間)

○準備段階調査について

スマートインターチェンジの準備段階(地方での計画検討・調整段階)において、国として必要性が確認できる箇所等について、国が調査を実施する「準備段階調査」を実施します。

これにより、スマートインターチェンジの地方での計画的かつ効率的な準備・検討の推進を図ることとしています。

【添付資料】

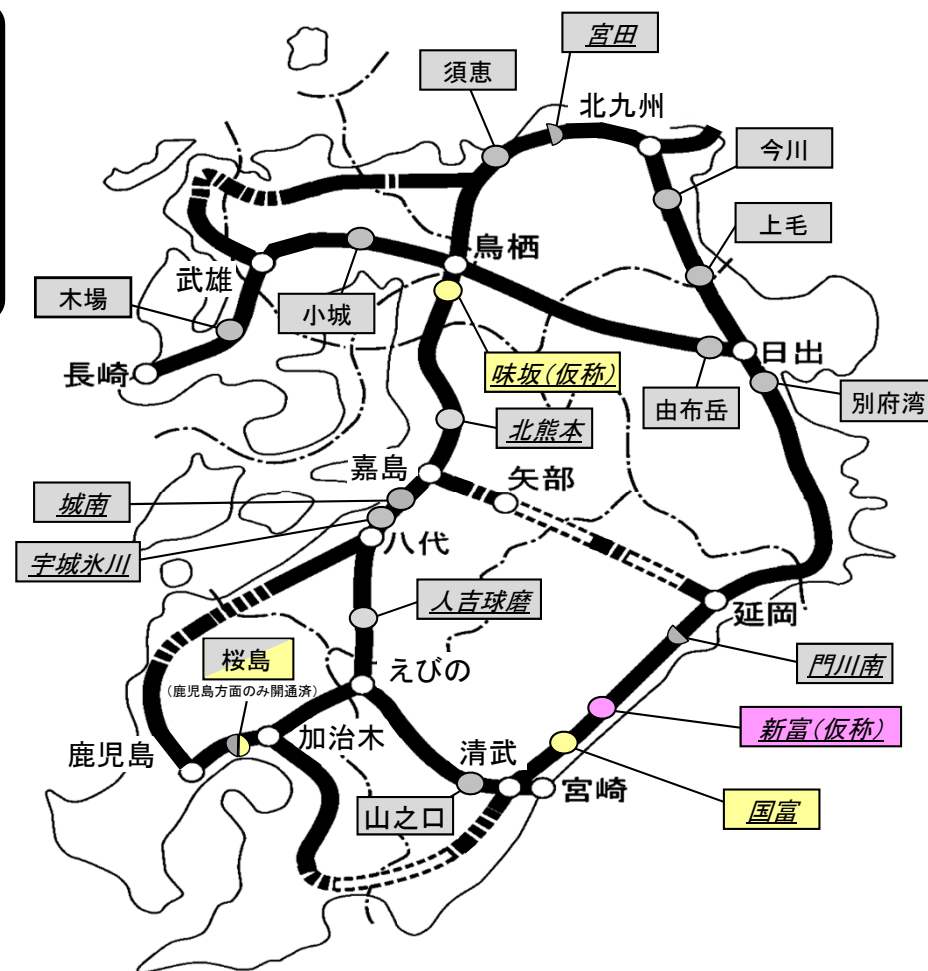
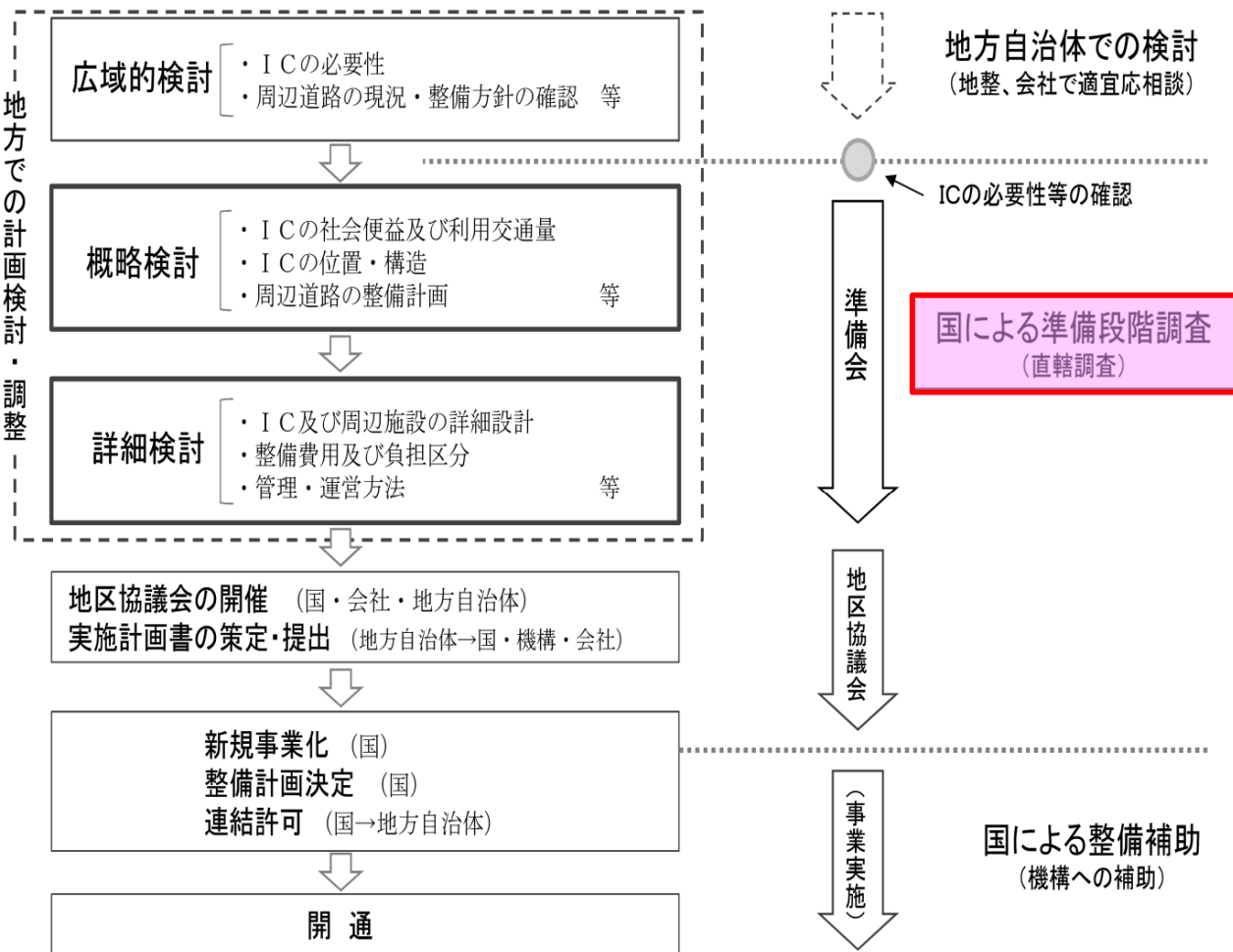
- ・ 別紙－1 スマートICの進め方／九州のスマートIC箇所図
- ・ 別紙－2 本省記者発表資料「高速道路会社への事業許可およびスマートインターチェンジの準備段階調査への採択等を行いました」

【問い合わせ先】

九州地方整備局 〔代表〕 092-471-6331 〔直通〕 TEL 092-476-3543
企画部広域計画課 課長 池田 稔浩(内線3211)
課長補佐 坂本 淳一(内線3212)

スマートインターチェンジの進め方

- スマートICの準備段階（地方での計画検討・調整段階）において、国として必要性が確認できる箇所等について、箇所を選定し、国が調査（直轄調査）を実施（準備段階調査）。
- 準備段階調査における準備会での検討や調整が整い、関係機関で構成される地区協議会で決定された実施計画書が提出された箇所につき新規事業化。



【凡例】		
	開通済	15箇所
	事業中	3箇所
	準備段階調査	1箇所
（令和元年9月27日時点）		

令和元年 9 月 27 日
道 路 局高速道路会社への事業許可および
スマートインターチェンジの準備段階調査への採択等を行いました

国土交通省は、

- ・スマートインターチェンジ10箇所の追加
- ・令和元年10月1日からの消費税引上げに伴う高速道路料金

について、本日付で高速道路会社へ事業許可を行いました。

併せて、以下について行うこととしましたのでお知らせいたします。

- ・スマートインターチェンジについて、新たに9箇所で準備段階調査への採択
- ・スマートインターチェンジの大型車対応・24時間化の実施（1箇所）
- ・追加インターチェンジ（無料区間）1箇所の追加

別添①：高速道路会社への事業許可等について

別添②：スマートインターチェンジの新規事業化等について

別添③：スマートインターチェンジの準備段階調査について

別添④：追加インターチェンジ（無料区間）について

参考資料①：スマートインターチェンジ新規事業化等箇所の整備効果

参考資料②：追加インターチェンジ（無料区間）設置箇所の整備効果

<問い合わせ先>

国土交通省 道路局 代表 TEL 03-5253-8111

（事業許可全般について）

高速道路課 依田、久保（内線：38314、38315）

（スマートインターチェンジについて）

高速道路課 依田、柁津（内線：38314、38315）

（消費税率引上げに伴う高速道路料金への転嫁について）

高速道路課 濱口（内線：38314、38315）

直通：03-5253-8500 FAX：03-5253-1619

（追加インターチェンジ（無料区間）について）

国道・技術課 関（内線：37832）

直通：03-5253-8492 FAX：03-5253-1620

1. 高速道路会社への事業許可

① スマートインターチェンジの新設関係

事業名		内容	事業主体
とうほくじゅうかん ひろさき 東北縦貫自動車道弘前線	きたかみ え づり こ はなまきみなみ 北上江釣子IC～花巻南IC	はなまき 花巻PA スマートIC(仮称)	NEXCO 東日本 (岩手県、 花巻市)
とうほくちゅうおう 東北中央自動車道 そうまおばなざわ 相馬尾花沢線	やまがたかみのやま やまがたちゅうおう 山形上山IC～山形中央IC	やまがた 山形PA スマートIC(仮称)	NEXCO 東日本 (山形市)
じょうばん 常磐自動車道	なみ え みなみそうま 浪江IC～南相馬IC	おだか 小高スマートIC(仮称)	NEXCO 東日本 (南相馬市)
じょうばん 常磐自動車道	やわら やたべ 谷和原IC～矢田部IC	つくばみらいスマートIC (仮称)	NEXCO 東日本 (つくばみらい市)
とうほくじゅうかん ひろさき 東北縦貫自動車道弘前線	いわつき くき 岩槻IC～久喜IC	はすだ 蓮田スマートIC ※フル化	NEXCO 東日本 (埼玉県、 蓮田市)
ちゅうおう にしのみや 中央自動車道西宮線	すわ おかや 諏訪IC～岡谷JCT	すわこ 諏訪湖スマートIC(仮称)	NEXCO 中日本 (諏訪市、 岡谷市)
とうかいほくりく 東海北陸自動車道	ごかやま ふくみつ 五箇山IC～福光IC	じょうはな 城端SAスマートIC(仮称)	NEXCO 中日本 (南砺市)
だいいちとうかい 第一東海自動車道	おかざき とよた 岡崎IC～豊田JCT	おかざきあちわ 岡崎阿知和スマートIC (仮称)	NEXCO 中日本 (岡崎市)
だいいちとうかい 第一東海自動車道	とうめいみよし なごや 東名三好IC～名古屋IC	とうごう 東郷スマートIC(仮称)	NEXCO 中日本 (日進市)
しこくじゅうかん 四国縦貫自動車道	どなり わきまち 土成IC～脇町IC	あわ 阿波スマートIC(仮称)※	NEXCO 西日本 (阿波市)

② 令和元年10月1日からの消費税引上げに伴う高速道路料金

消費税引上げに伴う高速道路料金への転嫁については以下のとおり。

- (1) 消費税が10%となるよう料金に適正に転嫁。
- (2) 端数処理の単位は、現行どおり(原則10円単位、四捨五入。)
- (3) 端数処理の結果、会社全体として110/108以内の増収となるよう調整。

※消費税引上げ後の料金の詳細については、各高速道路会社にお問い合わせください。

2. スマートインターチェンジの準備段階調査の採択

事業名		内容
ほっかいどうおうだん 北海道横断自動車道 くろまつないくしろ 黒松内釧路線	おとふけおびひろ いけだ 音更帯広IC～池田IC	おさるし 長流枝スマートIC(仮称)
とうほくちゅうおう そうまおばなざわ 東北中央自動車道相馬尾花沢線	やまがた てんどう 山形JCT～天童IC	てんどうみなみ 天童 南 スマートIC(仮称)
一般国道 13 号 よねざわなんよう 米沢南陽道路	よねざわきた なんようたかはた 米沢北IC～南陽高畠IC	たかはた 高畠スマートIC(仮称)
とうほくじゅうかん ひろさき 東北縦貫自動車道弘前線	くに み しろいし 国見IC～白石IC	しろいしちゅうおう 白石中央スマートIC(仮称)
じょうばん 常磐自動車道	みさと ながれやま 三郷JCT・IC～流山IC	みさとりょうきんじょ 三郷料金所スマートIC ※フル化
ほくりく 北陸自動車道	にしやま ながおか 西山IC～長岡JCT	おおづみ 大積スマートIC(仮称)
だいいちとうかい 第一東海自動車道	みつかび とよかわ 三ヶ日JCT～豊川IC	とよはししんしろ 豊橋新城スマートIC(仮称)
ちゅうぶおうだん 中部横断自動車道	しんしみず とみざわ 新清水JCT～富沢IC	りょうごうち 岡河内スマートIC(仮称)
ひがしきゅうしゅう 東九州自動車道	たかなべ さいと 高鍋IC～西都IC	しんとみ 新富スマートIC(仮称)

3. スマートインターチェンジの大型車対応・24時間化

事業名		内容	事業主体
さんよう すいたやまぐち 山陽自動車道吹田山口線	おかやま おかやま 岡山IC～岡山JCT	きび 吉備スマートIC	NEXCO 西日本 (岡山市)

4. 追加インターチェンジ(無料区間)

事業名		内容	事業主体
しこくおうだん 四国横断自動車道 あなんしまんと 阿南四万十線	あなん こまつしま 阿南IC～小松島IC	たつ えくしぶち 立江櫛渚IC(仮称)	国 徳島県

スマートインターチェンジ※¹新規事業化等箇所 一覧表

別添②

(単位:百万円)

スマートインターチェンジの名称(仮称)※ ²	連結位置	路線名	R1事業費※ ³
はなまき 花巻PA	岩手県花巻市	東北縦貫自動車道弘前線(北上江釣子IC～花巻南IC間)	5.4
やまがた 山形PA	山形県山形市	東北中央自動車道相馬尾花沢線(山形上山IC～山形中央IC間)	5.4
おだか 小高	福島県南相馬市	常磐自動車道(浪江IC～南相馬IC間)	5.4
つくばみらい	茨城県つくばみらい市	常磐自動車道(谷和原IC～谷田部IC間)	5.4
はすだ 蓮田(フル化)	埼玉県蓮田市	東北縦貫自動車道弘前線(岩槻IC～久喜IC間)	5.4
すわこ 諏訪湖	長野県諏訪市 長野県岡谷市	中央自動車道西宮線(諏訪IC～岡谷JCT間)	5.4
じょうはな 城端SA	富山県南砺市	東海北陸自動車道(五箇山IC～福光IC間)	5.4
おかざきあちわ 岡崎阿知和	愛知県岡崎市	第一東海自動車道(岡崎IC～豊田JCT間)	5.4
とうごう 東郷	愛知県日進市	第一東海自動車道(東名三好IC～名古屋IC間)	5.4
あわ 阿波	徳島県阿波市	四国縦貫自動車道(土成IC～脇町IC間)	5.4
きび※ ⁴ 吉備	岡山県岡山市	山陽自動車道吹田山口線(岡山IC～岡山JCT間)	—

※¹ スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

※² スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

※³ 事業費は高速道路機構への補助対象分であり、地方が整備する高速道路の区域から既設の一般道路までの道路などは含みません。

※⁴ 大型車対応、24時間化

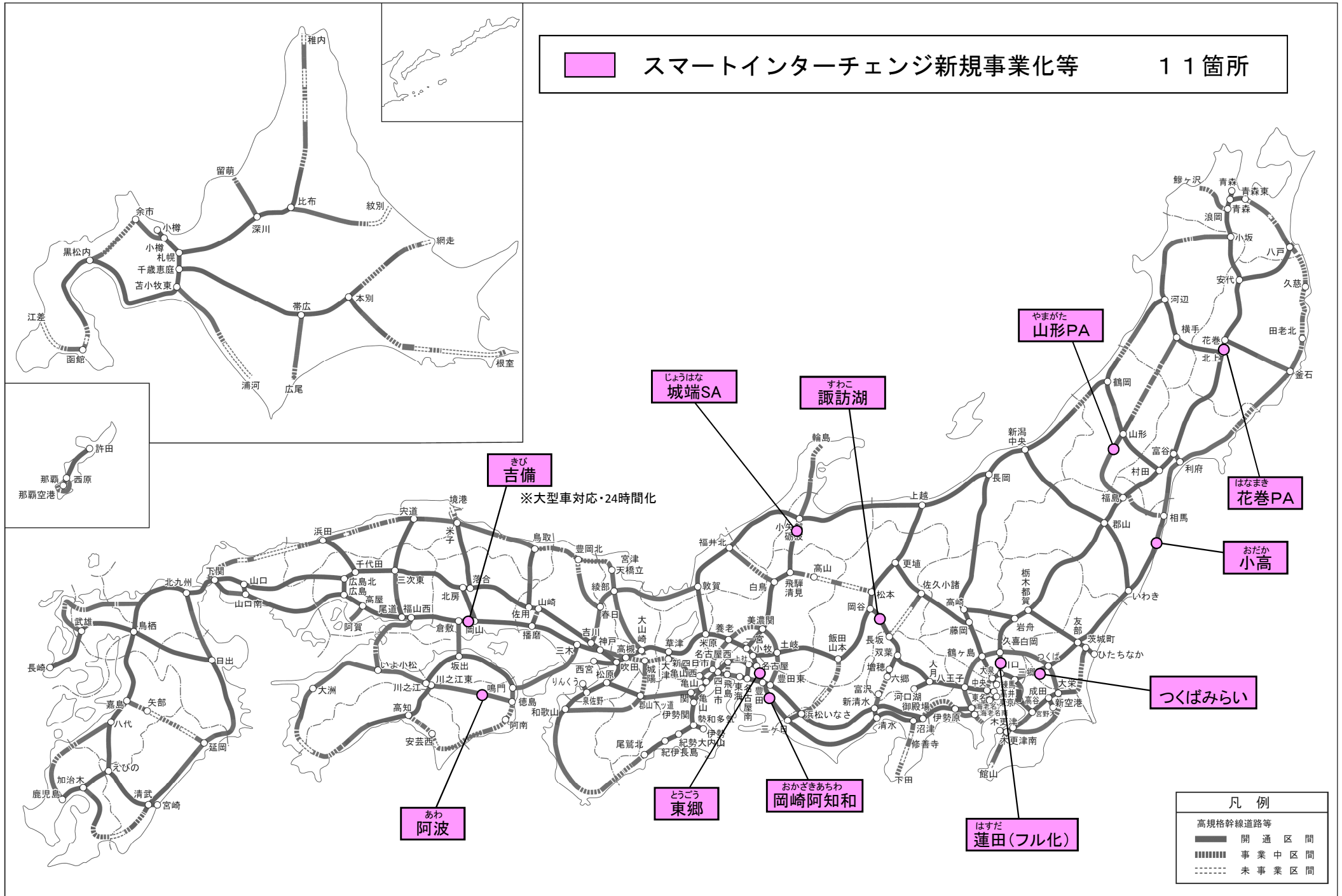
スマートインターチェンジ新規事業化等箇所図

別添②



スマートインターチェンジ新規事業化等

11箇所



スマートインターチェンジ※1新規準備段階調査箇所 一覧表

別添③

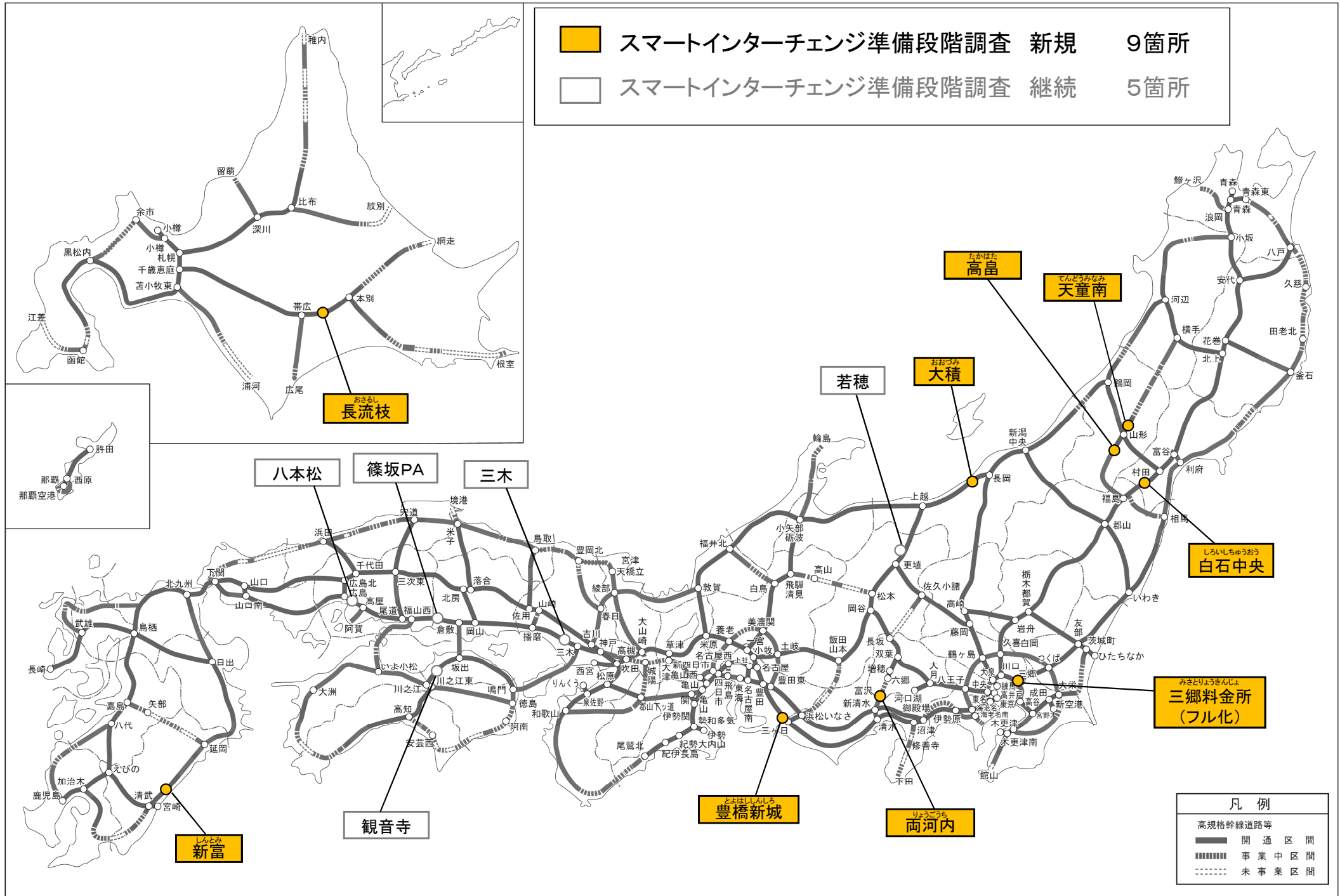
スマートインターチェンジの名称(仮称)※2	検討位置	路線名
おさるし 長流枝	北海道河東郡音更町	北海道横断自動車道黒松内釧路線(音更帯広IC～池田IC間)
てんどうみなみ 天童南	山形県天童市	東北中央自動車道相馬尾花沢線(山形JCT～天童IC間)
たかはた 高畠	山形県東置賜郡高畠町	一般国道13号 米沢南陽道路(米沢北IC～南陽高畠IC間)
しろいし ちゅうおう 白石中央	宮城県白石市	東北縦貫自動車道弘前線(国見IC～白石IC間)
みさと りょうきんじょ 三郷料金所(フル化)	埼玉県三郷市	常磐自動車道(三郷JCT・IC～流山IC間)
おおづみ 大積	新潟県長岡市	北陸自動車道(西山IC～長岡JCT間)
とよはし しんしろ 豊橋新城	愛知県豊橋市 愛知県新城市	第一東海自動車道(三ヶ日JCT～豊川IC間)
りょうごうち 岡河内	静岡県静岡市	中部横断自動車道(新清水JCT～富沢IC間)
しんとみ 新富	宮城県児湯郡新富町	東九州自動車道(高鍋IC～西都IC間)

※1 スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

※2 スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

スマートインターチェンジ準備段階調査箇所図

別添③



追加インターチェンジ(無料区間)^{※1} 一覧表

別添④

インターチェンジの名称(仮称) ^{※2}	路線名 ^{※3}	申請者	連結位置
たつえ ぐしぶち 立江櫛渚インターチェンジ	四国横断自動車道阿南四万十線(阿南IC～小松島IC間)	徳島県知事	徳島県小松島市

※1 追加インターチェンジ(無料区間)とは、直轄で建設・管理する区間の高速道路に追加整備するインターチェンジです。

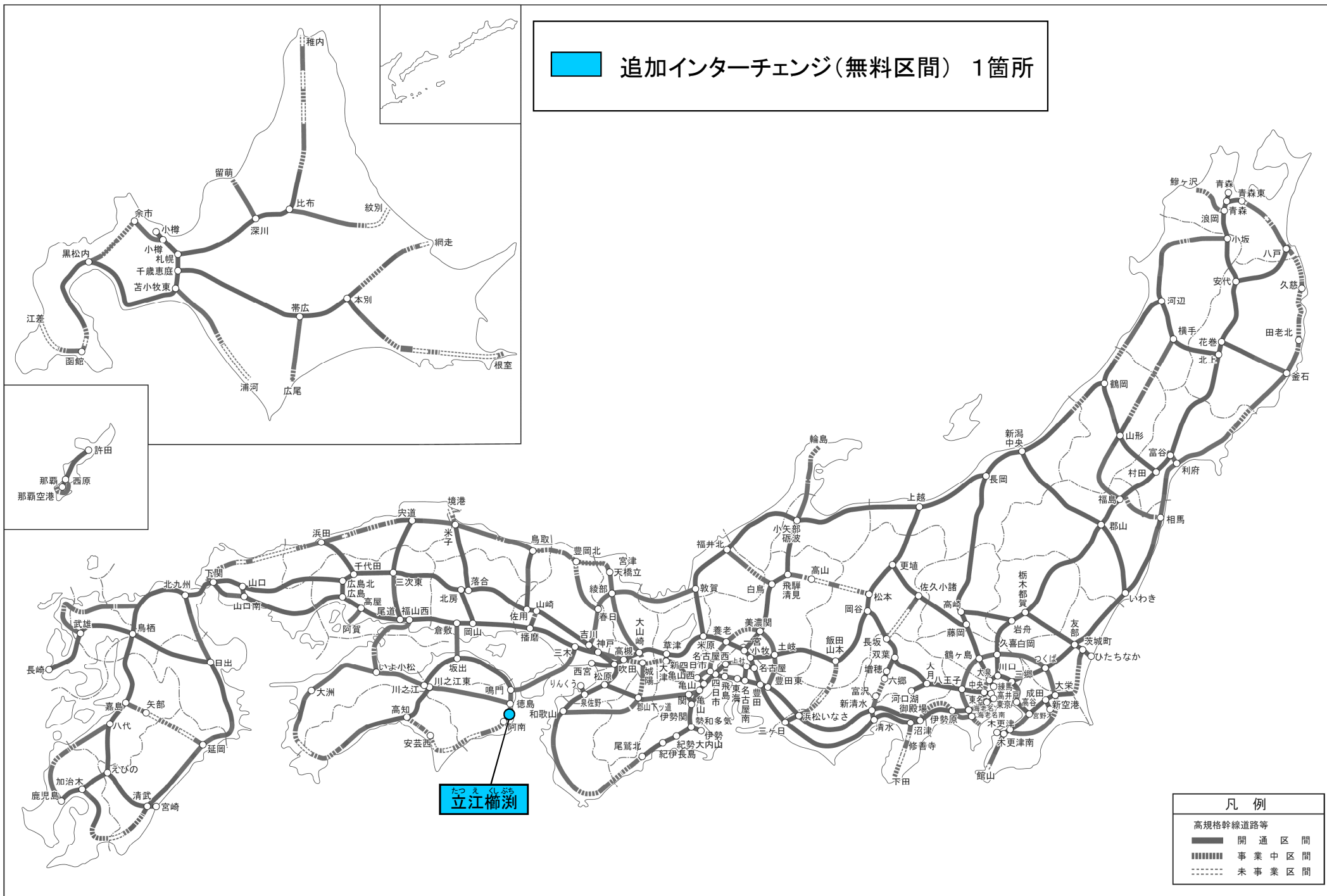
※2 追加インターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

※3 未供用のIC、JCTは仮称です。

追加インターチェンジ(無料区間)箇所図

別添④

追加インターチェンジ(無料区間) 1箇所



參考資料①

▲県立中央病院と岩手医科大学附属病院へのアクセス

スマートインターチェンジ新規事業化等箇所の整備効果

参考資料①

■東北中央自動車道 ^{やまがた} 山形PAスマートIC (仮称)

<概要>

路線名 : 東北中央自動車道
(^{やまがた かみのやま} 山形上山IC～^{やまがた ちゅうおう} 山形中央IC間)

設置場所 : ^{やまがた} 山形県山形市

接続形式 : SA・PA接続型

形式 : 全方向 (4/4)

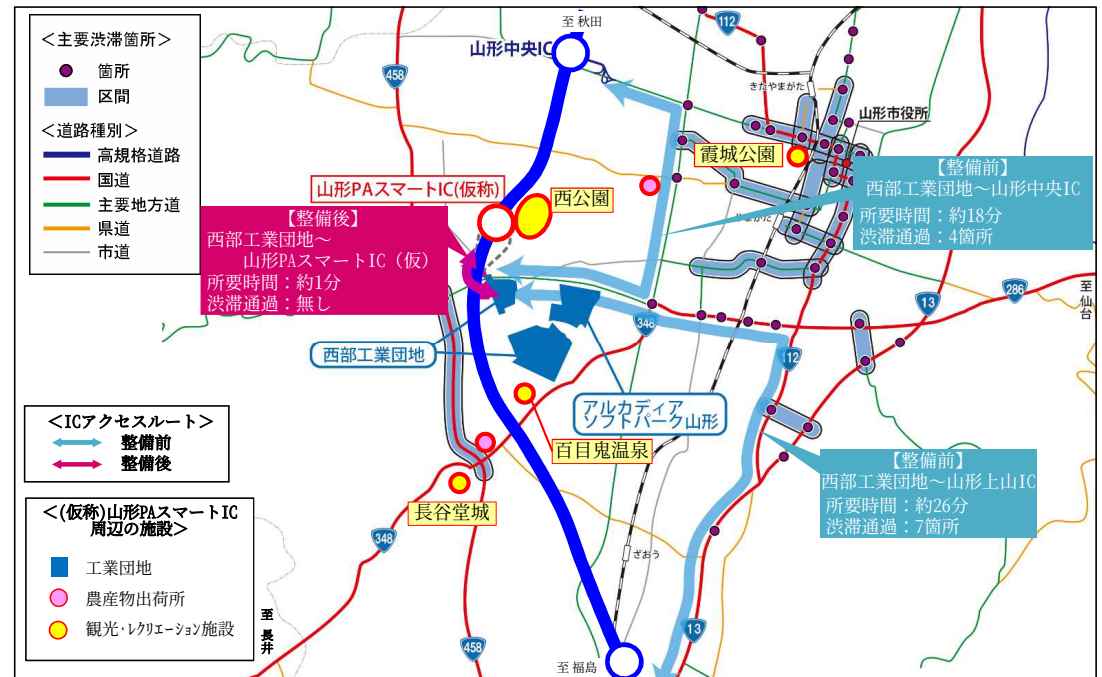
運用形態 : 全車種 24時間

<位置図>



整備効果 産業振興

・スマートICの整備により、工業団地や農産物集出荷所から主要渋滞箇所を通過することなく、東北中央自動車道へアクセスが可能となり輸送の利便性向上が期待される。



▲山形PAスマートIC (仮)と周辺エリアへのアクセスルート

整備効果 交流人口の拡大

・スマートICの整備により、温泉施設や屋内外のスポーツ施設が整備された西公園を中心とした観光・レクリエーション施設へのアクセスが向上し、交流人口の拡大が期待される。



スマートインターチェンジ新規事業化等箇所の整備効果

参考資料①

■常磐自動車道 小高スマートIC (仮称)

<概 要>

路線名 : 常磐自動車道
(浪江IC～南相馬IC間)

設置場所 : 福島県南相馬市

接続形式 : 本線直結

形式 : 全方向 (4/4)

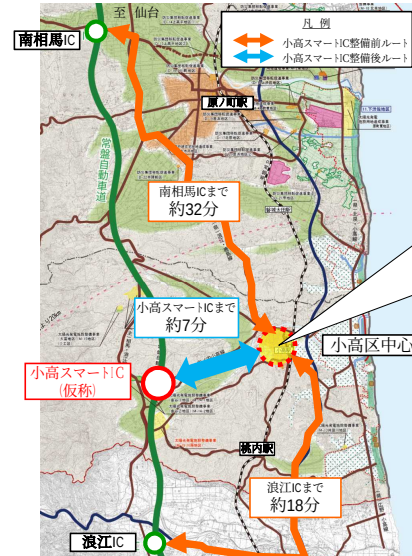
運用形態 : 全車種 24時間

<位置図>

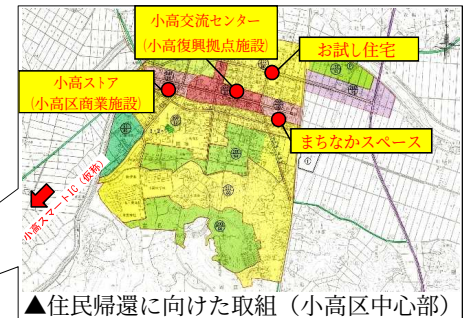


整備効果 小高区中心部へのアクセス向上

- ・小高区中心部では、住民帰還に向けた取組として、復興拠点施設である小高交流センターなどが整備されている。
- ・スマートICの整備により、市外や県外の避難者が小高区にアクセスする際の利便性が向上し、居住・定住の促進が期待される。



▲小高区中心部とICアクセス状況



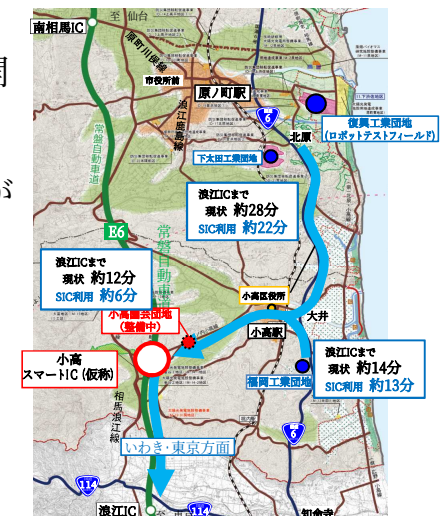
▲小高交流センター利用状況

整備効果 産業振興

- ・スマートICの整備により、企業の事業再開の加速や企業の誘致促進が期待される。
- ・「小高園芸団地」の整備を進めており、周年栽培による農産品出荷の輸送効率化が期待される。



▲小高園芸団地完成イメージ



▲主要工業団地の関東方面へのアクセス

スマートインターチェンジ新規事業化等箇所の整備効果

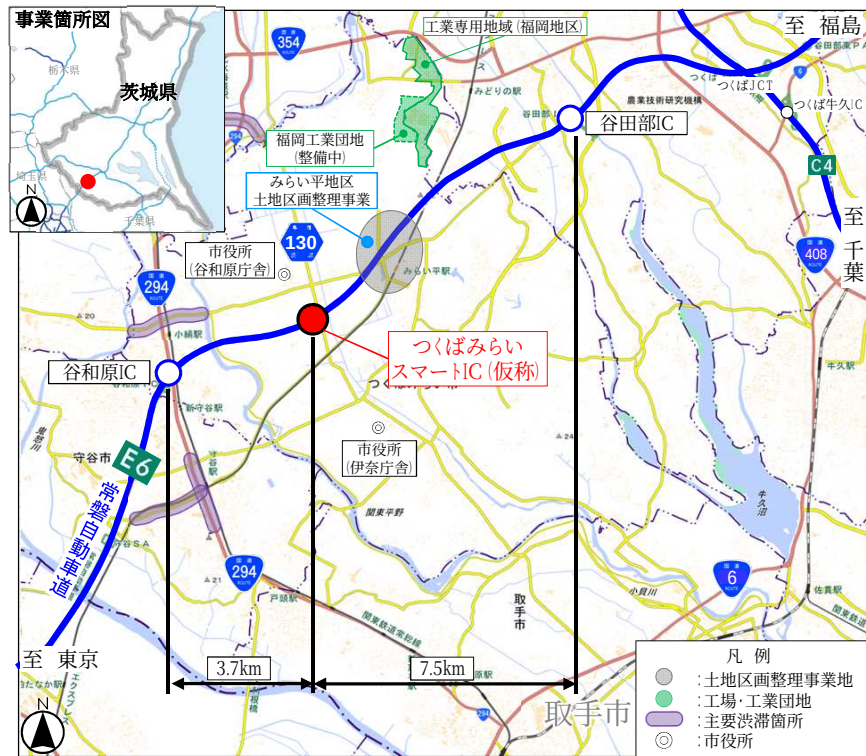
参考資料①

■常磐道 つくばみらいスマートIC (仮称)

<概 要>

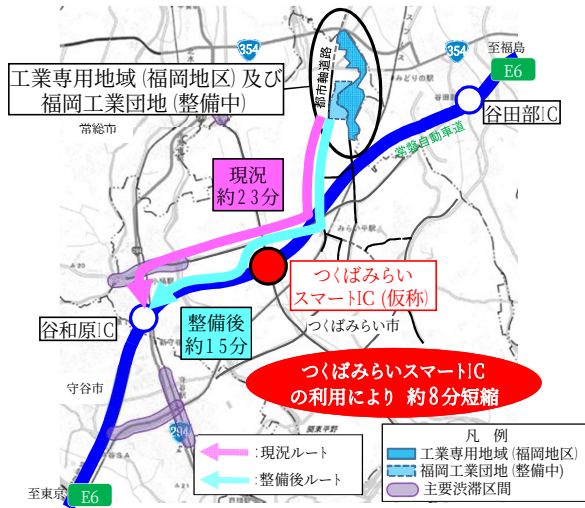
- 路線名 : 常磐自動車道
(谷和原IC～谷田部IC間)
- 設置場所 : 茨城県つくばみらい市
- 接続形式 : 本線直結型
- 形式 : 全方向 (4/4)
- 運用形態 : 全車種 24時間

<位置図>



整備効果 企業誘致の促進・物流の効率化

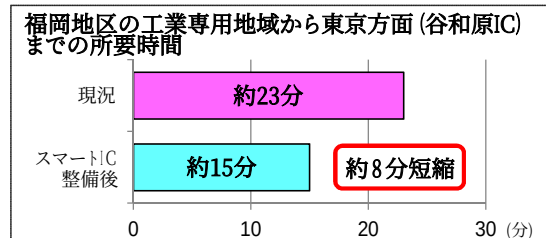
・つくばみらいスマートICの整備により、整備中の福岡工業団地や既存の福岡地区の工業専用地域からの高速道路へのアクセスが向上し、企業誘致の促進や物流の効率化が期待される。



福岡地区の工業専用地域に立地する代表企業

【企業A】
農業機械を製造
(取引先は主に東京港を經由し北米、欧州、アジアなどに輸出)

【企業B】
アイスモナカなどのコーンを製造
(取引先は関東(埼玉県深谷市、神奈川県大和市)、関西、九州地方)



整備効果 周辺開発・地域産業の育成と活性化

・つくばみらい市では、福岡工業団地の整備やワープステーション江戸周辺への映像関連産業の企業誘致展開、スマートIC周辺における新たな産業拠点構想の立案等、地域の活力となる産業の創出に取り組んでいる。

・つくばみらいスマートICの整備により、市の魅力・特性を生かした地域産業の育成と活性化が期待される。



開発箇所	状況	規模
みらい平地区	供用	約275ha
福岡工業団地	整備中	約32ha
ワープステーション江戸周辺	構想中	
スマートIC周辺	構想中	

ワープステーション江戸 概要

時代劇のオープンセットが建ち並び、国内屈指の野外型ロケ施設。明治・大正・昭和のビル街や商店街を表現した「近現代エリア」の拡張工事が完了し、平成31年1月より一般公開を開始。

參考資料①

＜概 要＞

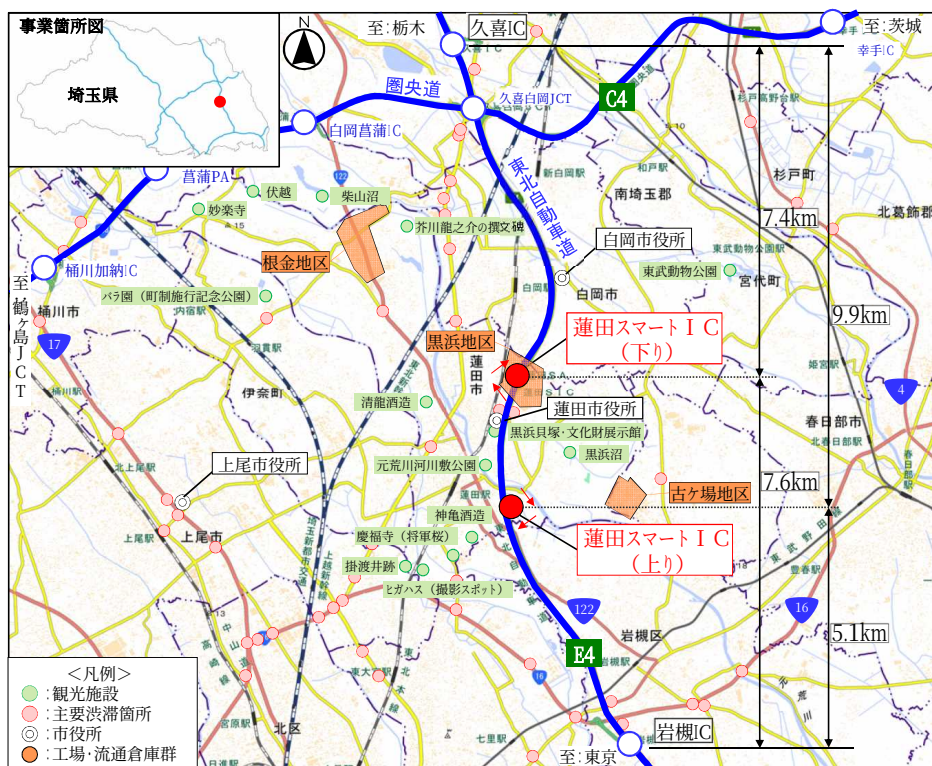
設置場所 : 埼玉県蓮田市ほすた

接続形式 : SA・PA接続型

形 式 : 全方向 (4/4)
※現在は東京方面出入りのみ

運用形態 : 全車種(車長12m以下) 24時間
※現在は小型車限定(車長6m以下)に制限

＜位置図＞

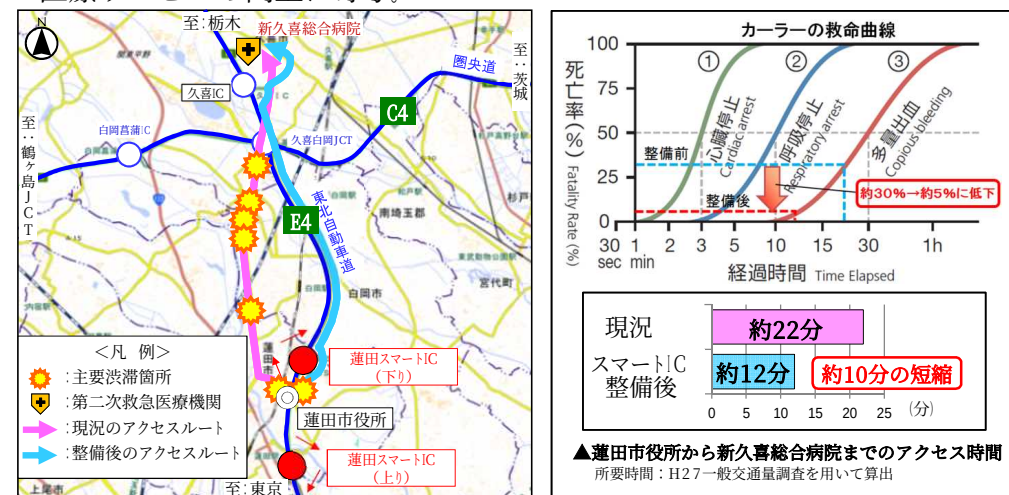


- ・蓮田スマートICの整備により交通が分散することで、岩槻IC・久喜IC周辺の渋滞緩和や、物流の効率化が図られる。



整備効果 地域医療サービスの向上

- ・蓮田スマートICの整備により、蓮田市役所から第二次救急医療機関である新久喜総合病院まで一般道の主要渋滞箇所を回避したアクセスが可能となり、地域医療サービスの向上に寄与。



スマートインターチェンジ新規事業化箇所等の整備効果

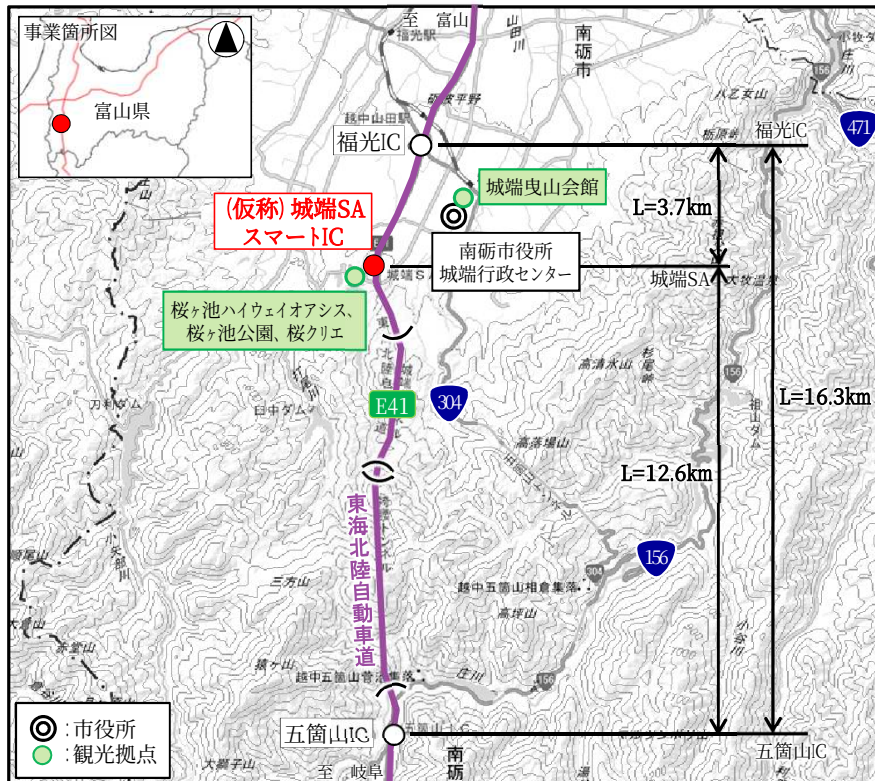
参考資料①

■東海北陸自動車道 城端SAスマートIC (仮称)

<概 要>

路線名 : 東海北陸自動車道
(五箇山IC～福光IC間)
設置場所 : 富山県南砺市
接続形式 : SA・PA接続型
形式 : 全方向 (4/4)
運用形態 : 全車種 (12m以下) 24時間

<位置図>



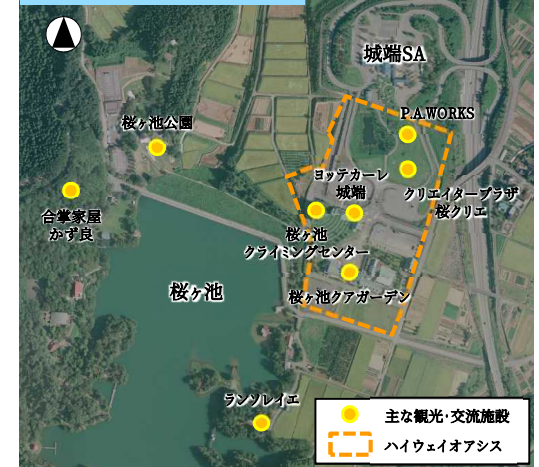
整備効果 桜ヶ池周辺の交流拠点の活性化

・複数の交流拠点が集積する桜ヶ池周辺地区へ、直接的なアクセスが可能となることから、交流人口の増加や観光の活性化が期待される。

中京圏からのアクセスの変化



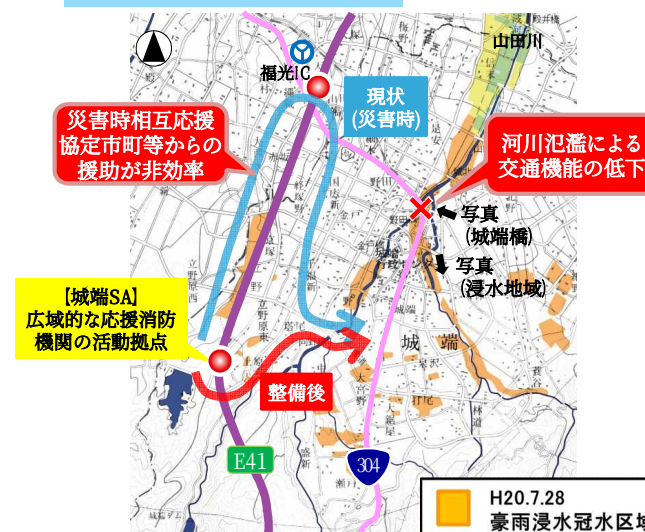
桜ヶ池周辺の主な施設



整備効果 地域における防災力の強化

・南砺市地域防災計画において「応援消防機関の活動拠点」に位置付けられている城端SAと一般道との行き来が可能となり、城端SAを拠点とする救援活動、物資輸送の効率化が期待される。

災害時におけるアクセスの変化



H20.7.28豪雨時の城端市街地の状況



スマートインターチェンジ新規事業化等箇所の整備効果

参考資料①

■東名高速道路

<概要>

路線名：東名高速道路

おかざき あちわ
岡崎阿知和スマートIC (仮称)

おかざき とよた
(岡崎IC～豊田JCT間)

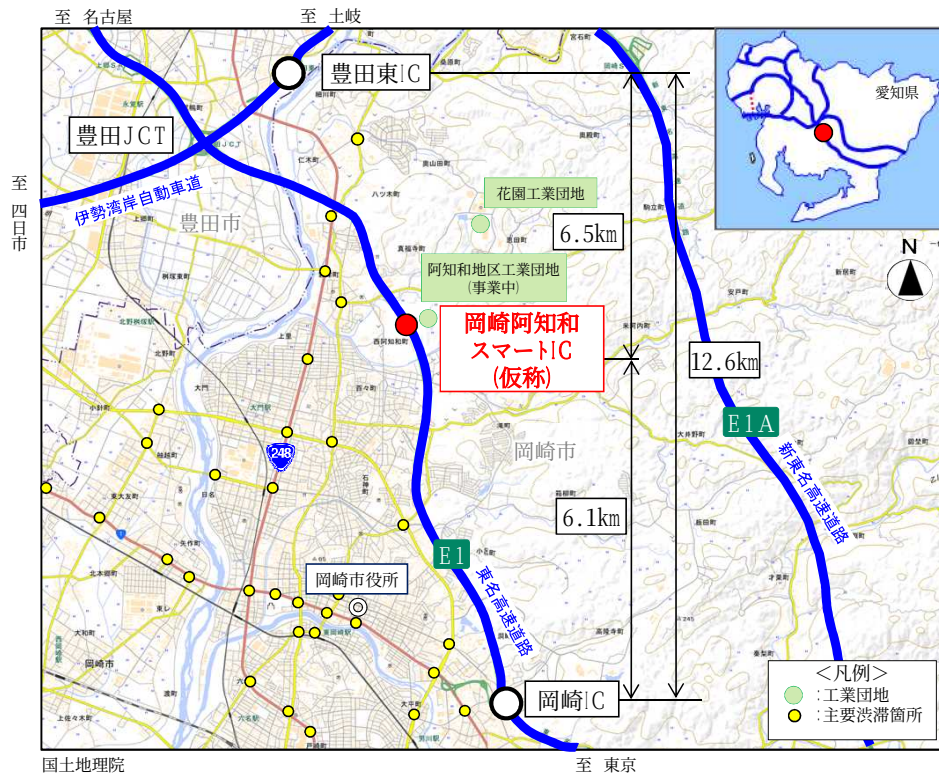
設置場所：愛知県岡崎市

接続形式：本線直結型

形式：全方向 (4/4)

運用形態：全車種 24時間

<位置図>



整備効果 交通分散による混雑緩和

・岡崎阿知和スマートICの整備により、周辺の工業団地から一般道の渋滞を回避した高速道路へのアクセスが可能となることから、交通分散による幹線道路の混雑緩和や高速道路へのアクセス時間短縮が期待される。



主要渋滞箇所の混雑状況(上里1丁目交差点)



主要渋滞箇所を避けることが可能

花園工業団地から高速道路(豊田東IC)へのアクセス時間の短縮



整備効果 阿知和地区工業団地の企業誘致・雇用促進

・岡崎阿知和スマートICの整備により、隣接する阿知和地区工業団地(事業中)から高速道路へのアクセス性が向上し、工業団地の企業誘致促進及び新規雇用創出が期待される。



阿知和地区工業団地の整備



※イメージ

<開発計画面積>
約57ha

<コンセプト>
成長基盤の強化に資する工業団地のアクセス道路として、直近にスマートICを整備。スマートICと工業団地の同時整備を進める

スマートインターチェンジ新規事業化等箇所の整備効果

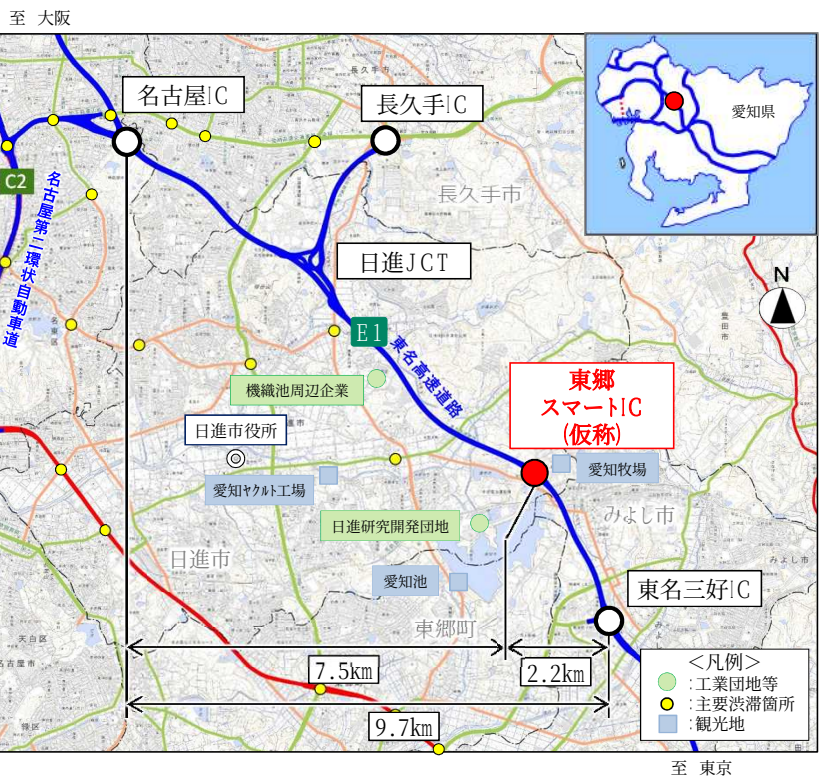
参考資料①

東名高速道路 東郷スマートIC (仮称)

<概要>

- 路線名 : 東名高速道路
(名古屋IC～東名三好IC間)
- 設置場所 : 愛知県日進市
- 接続形式 : SA・PA接続型
- 形式 : 全方向 (4/4)
- 運用形態 : 全車種 24時間

<位置図>

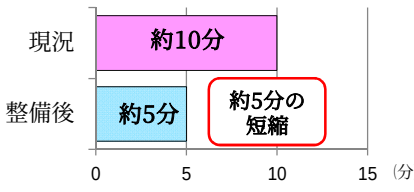


整備効果 物流効率化・産業振興

・東郷スマートICの整備により、周辺企業から高速道路へのアクセス時間が短縮し、物流の円滑化による生産性の向上が期待できる。

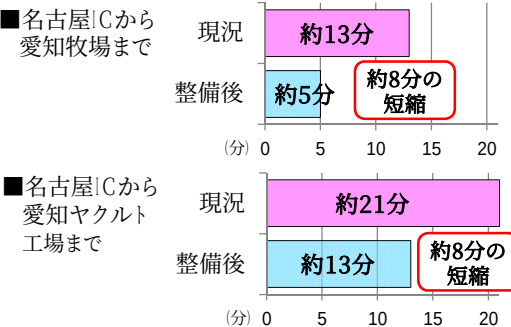
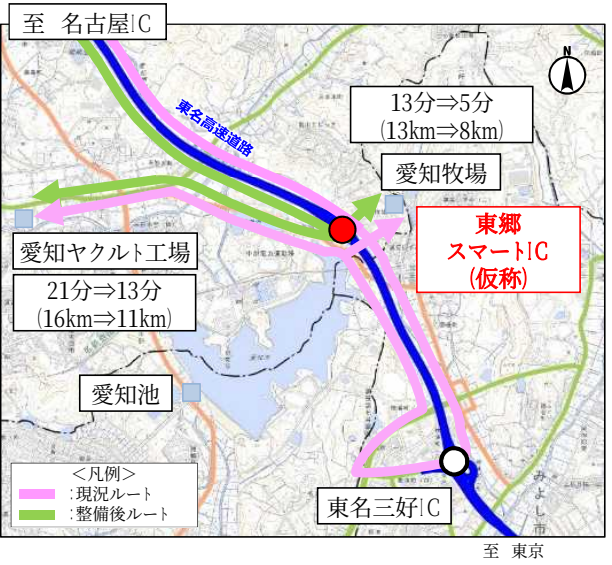


日進研究開発団地から東名三好ICまでのアクセス時間の変化



整備効果 観光振興

・東郷スマートICの整備により、観光施設へのアクセス時間が短縮し、観光客の増加、地域活性化が期待される。



スマートインターチェンジ新規事業化等箇所の整備効果

参考資料①

■徳島自動車道 阿波スマートIC (仮称)

<概 要>

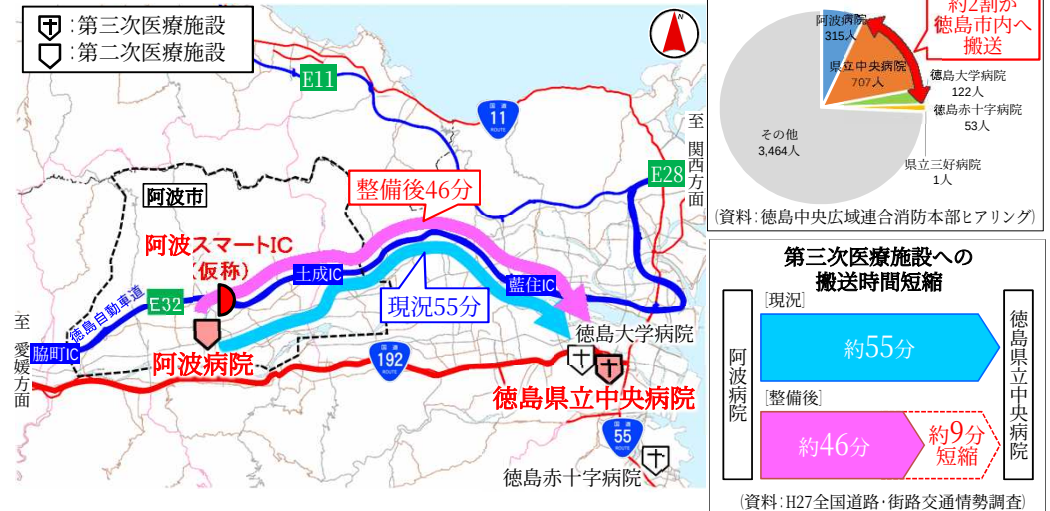
路線名 : 徳島自動車道
(土成IC～脇町IC間)
設置場所 : 徳島県阿波市
接続形式 : 本線直結型
形式 : 上り方向 (2/4) (徳島方面)
運用形態 : 全車種 24時間

<位置図>



整備効果 救急医療活動を支援

スマートICの整備により、阿波市から徳島市内の第三次医療施設への搬送において、高速道路へのアクセスが向上することから、迅速な搬送に繋がり、救急医療活動を支援する。



整備効果 災害発生時の物資輸送活動を支援

スマートICの整備により、第一次緊急輸送道路である徳島自動車道から広域物資輸送拠点施設「アエルワ」のアクセス性が改善され、阿波市の防災機能の向上や周辺地域への物資輸送活動の効率化が期待される。



スマートインターチェンジ新規事業化等箇所の整備効果

参考資料①

■山陽自動車道 吉備スマートIC

大型車対応化・24時間化

<概要>

路線名：山陽自動車道

(岡山IC～岡山JCT間)

設置場所：岡山県岡山市

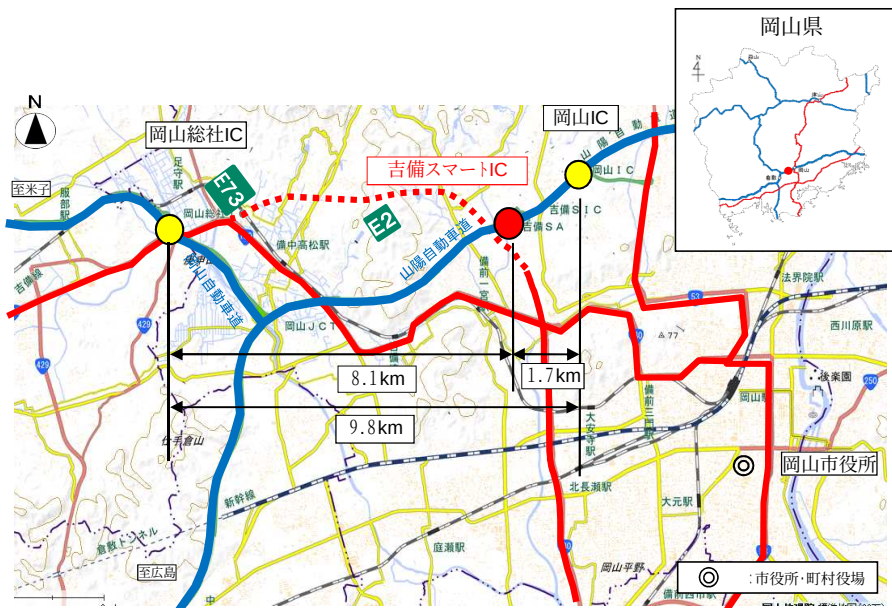
接続形式：SA・PA接続型

形式：全方向（4/4）

運用形態：全車種 24時間

※現在は小型車限定（車長6m以下）、
時間制限有り（6時～22時）

<位置図>



整備効果 岡山市中心部への分散導入

・国道180号線総社・一宮バイパスと吉備スマートICを直接接続することで高速道路とのアクセス性が向上し、岡山市中心部への交通の分散導入効果や岡山市中心部の渋滞解消効果が期待される。



整備効果 防災体制の強化

・災害時における防災拠点間の大型車での輸送が可能になると同時に、アクセス経路の多重化や距離短縮が図られることで防災体制の強化が期待される。



追加インターチェンジ(無料区間)の整備効果

参考資料②

■四国横断自動車道 立江櫛渚IC(仮称)

<概要>

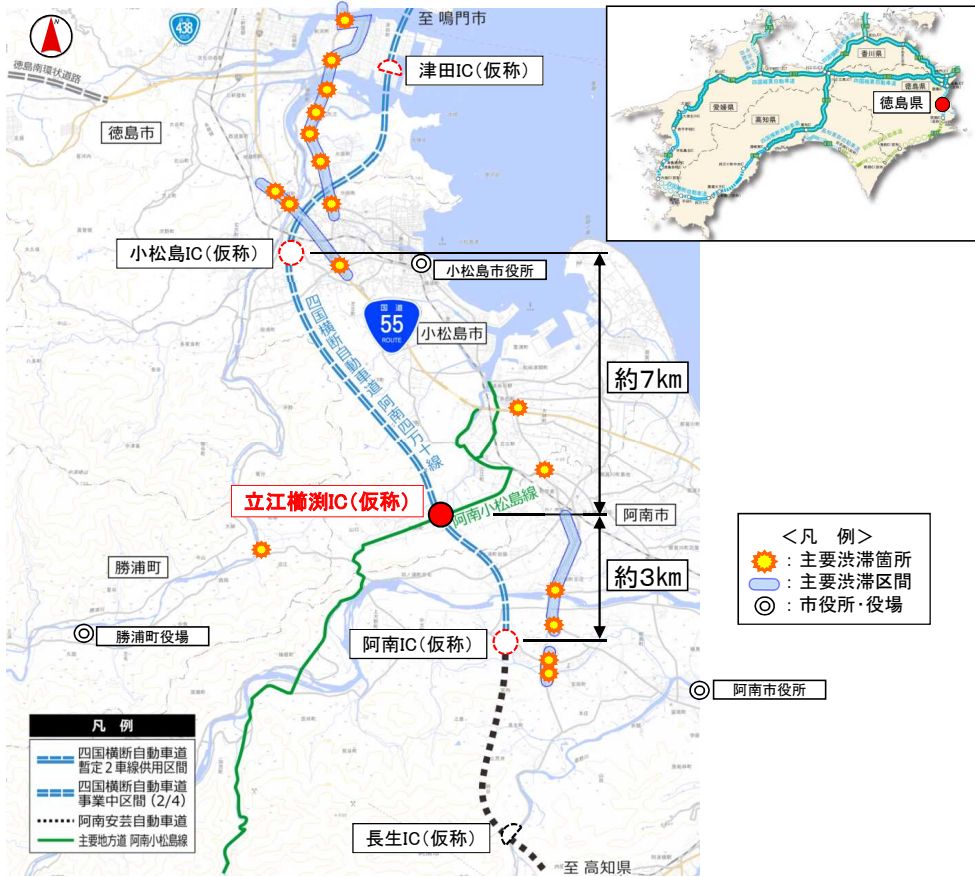
路線名 : 四国横断自動車道 阿南四万十線
(阿南IC(仮称)～小松島IC(仮称)間)

設置場所 : 徳島県小松島市

接続形式 : 本線直結型

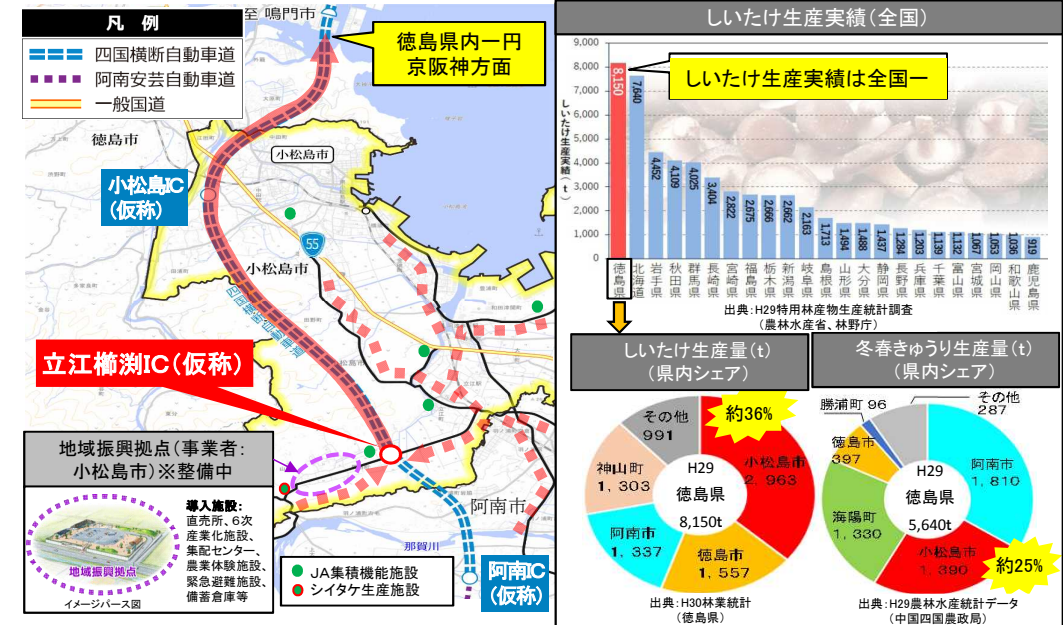
形式 : 全方向 (4/4)

<位置図>



整備効果 地場産業の活性化

・各種農産物(しいたけ、きゅうり等)の集配センターとなる地域振興拠点からの輸送環境及びアクセス性の向上が図られ、商圈の拡大や地場産業の活性化等へ貢献



整備効果 交通分散による渋滞緩和

・幹線道路の交通量が四国横断自動車道に転換・分散することで、主要渋滞箇所への流入交通が減少し、周辺道路の渋滞を緩和

